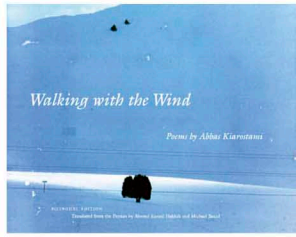


詩人としてのキアロスタミ

キアロスタミ監督はまた、多くの詩を残したことで知られています。本特集上映にご来場のお客様には、選りすぐりの数編を日本語に訳したポストカードをプレゼントいたします。



キアロスタミ詩集
「Walking with the Wind」

写真家としてのキアロスタミ

キアロスタミ監督は写真家としても一流の腕前をもち、写真集を出版し、日本でも3度個展を開催しました。本特集上映期間中、劇場ロビーにてキアロスタミ監督の写真の展示を行います。



2003年に行われた宮廻正明、キアロスタミの二人展「Duet2003道」のポストカード

トークショー 開催 ●10月22日[土]13:10『風が吹くまま』上映後
ゲスト:荒川洋治さん(現代詩作家)

●10月21日[金]17:30『風が吹くまま』上映後
ゲスト:宮廻正明さん(日本画家/東京芸術大学教授)

キアロスタミ全仕事

ABBAS KIAROSTAMI RETROSPECTIVE

10/19[水] → 27[木]

10/19 [水]	11:40 ライク・サムワン・イン・ラブ + 24 Frames	14:20 トスカーナの贖作	16:30 桜桃の味	18:40 トラベラー + パンと裏通り	
10/20 [木]	11:40 クローズ・アップ	14:00 友だちのうちのどこ?	16:00 ライク・サムワン・イン・ラブ + 24 Frames	18:40 シーリーン	
10/21 [金]	11:40 トスカーナの贖作	14:00 クローズ・アップ	16:00 鍵	17:30 風が吹くまま ●——上映後トーク有	20:15 キアロスタミとの一週間
10/22 [土]	11:10 友だちのうちのどこ?	13:10 風が吹くまま ●——上映後トーク有	16:00 オリーブの林を抜けて	18:20 そして人生はつづく	20:15 ドキュメント:キアロスタミの世界
10/23 [日]	11:10 桜桃の味	14:00 クローズ・アップ	16:10 シーリーン	18:10 ライク・サムワン・イン・ラブ + 24 Frames	
10/24 [月]	11:40 ABCアフリカ	14:00 クローズ・アップ	16:20 柳と風	18:40 5 five ~小津安二郎に捧げる~	
10/25 [火]	11:40 10話	13:40 10 on TEN	16:00 ホームワーク	18:00 桜桃の味	20:10 トスカーナの贖作
10/26 [水]	11:40 風が吹くまま	14:00 キアロスタミとの一週間	16:20 そして人生はつづく	18:20 オリーブの林を抜けて	20:30 クローズ・アップ
10/27 [木]	11:40 トスカーナの贖作	14:00 風が吹くまま	16:20 桜桃の味	18:20 友だちのうちのどこ?	20:15 ライク・サムワン・イン・ラブ + 24 Frames

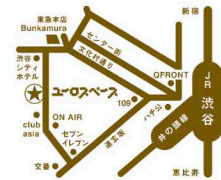
※経年劣化等により上映素材の状態が悪い作品がございます。予めご了承ください。※各回入替制

入場料金

一般1400円/大学生1200円/会員・シニア1000円
高校生800円/中学生以下500円
※2本目以降は半券提示で1000円でご覧いただけます
※「10 on TEN」は英語吹替版での上映のため500円均一
※全席自由席、整理番号順入場

渋谷・文化村前交差点左折

EUROSPACE
03 (3461) 0211 eurospace.co.jp



2016
10/19[水] → 27[木]

کیاروستامی ABBAS KIAROSTAMI RETROSPECTIVE 全仕事

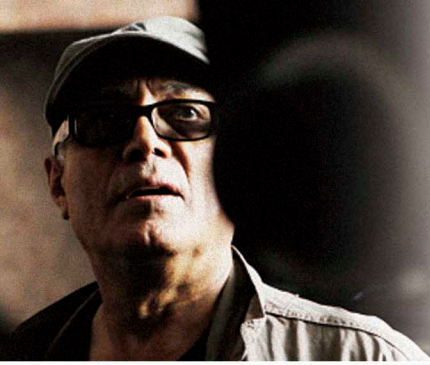
パンと裏通り
トラベラー
友だちのうちのどこ?
鍵
ホームワーク
クローズ・アップ
そして人生はつづく
オリーブの林を抜けて
ドキュメント:キアロスタミの世界
桜桃の味
風が吹くまま
キアロスタミとの一週間
柳と風
ABCアフリカ
10話
5 five ~小津安二郎に捧げる~
10 on Ten
シーリーン
トスカーナの贖作
ライク・サムワン・イン・ラブ
24 Frames

映画は、グリフィスに始まり、
キアロスタミで終りを告げる。
——ジャン・リュック・ゴダール

2016年7月4日に逝去したアッバス・キアロスタミ監督
数々の珠玉の名作をあらためて迎える9日間。

本邦初公開の〈短編〉を含む、21篇の奇跡

主催:ユーロスペース 協力:KNOON, Farabi Cinema Foundation, MK2, トランスフォーマー、NHKエンタープライズ、東京国際映画祭

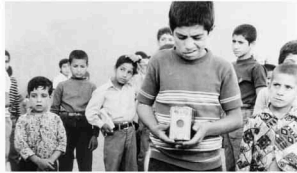


1970年代に児童映画で監督としてのキャリアをスタートさせたキアロスタミは、ドキュメンタリー映画を経由して、多くの批評家が彼の最高傑作とする『クローズ・アップ』に到達、それによって世界は名作『友だちのうちはどこ?』を発見することになる。90年代には今も世界の監督に影響を与え続ける映画手法と、人生への深い洞察力に満ちた映画で、映画史の巨匠のひとりとして認知されるが、今世紀に入るや確立したスタイルを捨て、映画のさらなる可能性を追求する苦渋の時代に入る。そして2010年、かつて「その土地に根ざした木を、別の土地に植えなおしても実は結ばない。映画も同じだ」と語っていたキアロスタミが、イタリア、日本そして中国(今年予定していた)で映画を撮ることを選ぶ。その変節の理由を彼は頑なに口に出すことなく、突然に逝った。

キアロスタミ全仕事

ABBAS KIAROSTAMI RETROSPECTIVE

キアロスタミ 監督作品



トラベラー

1974年/イラン/モノクロ/35mm/72分
撮影:フィルズ・マレクザデ 出演:ハッサン・ダラビ、マスト・ザンドベグラー

●小学生のガッセムは10歳、学校では落ちこぼれて、夢中なのはサッカーだけ。テヘランで催される大事な試合を観戦するため、親のから盗み、先生にウソをつき、やっとのことでスタジアムに着くが、あまりにひたむきな少年に笑われ、また胸がしめつけられる長篇処女作。



友だちのうちはどこ?

1987年/イラン/カラー/35mm/85分
撮影:ファルハッド・サバ 出演:ババク・アハマドプール、アハマド・アハマドプール

●小学生のアハマドが帰宅してみるとカバンの中に友だちのノートが! 明日までに返さなければ、友だちが先生に怒られてしまう。ノートを抱え、遠い隣村までジグザグ道を走るが、家を知らない彼はいつまでたっても辿り着けない…。少年の友だちを思っますぐな気持ちと、迷子の不安な気持ちとが静かな画面から流れ出す。キアロスタミの名前を世界的にした珠玉の名作。



ホームワーク

1989年/イラン/カラー/16mm/86分
撮影:イラジ・サファヴィ 出演:「シャヒッド・マシム小学校」の生徒と先生

●通学路の途中で映画監督がカメラを据え、登校途中の小学生たちに質問する。「宿題はやってきた?」。監督は「宿題」を通して、学校教育の現状についてのリサーチをするつもりだ。十数人の小学生とのやりとりから、子供たちの日常やイランの一般家庭の様子が浮かび上がってくる。



クローズ・アップ

1990年/イラン/カラー/35mm/97分
撮影:アリ・レザ・ザリダスト/出演:ホセイン・サブジアン、モフセ・マフマルバフ

●若い失業者で映画好きのサブジアンはある婦人に有名なマフマルバフ監督に間違えられ、悪気もなくそうだとお詫言ってしまう。映画を愛するあまり、映画好きの一家を騙ってしまった主人公の顛末を描くこの作品は、実話に基づき、登場人物は全て本人が演じている。ドキュメンタリーと再現現場とがその境目をなくしながら構成され、観る者を惹きこんでゆく傑作。



そして人生はつづく

1992年/イラン/カラー/35mm/91分
撮影:ホムヤン・バイヴァール 出演:ファルハッド・クレタマンド、アーヤ・バイヴァール

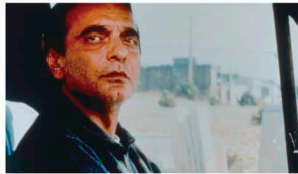
●1990年、イラン北部を襲った大地震は「友だちのうちはどこ?」の撮影現場を直撃した。キアロスタミはすぐに被災地へ向かうが、村々は無残に崩壊し少年たちの消息も分からない。しかしそこには青々と残ったオリーブの林や、生活を建て直すべく頑張る人間の姿があった。その体験をそのまま再現した本作は、92年カンヌ国際映画祭ロッセリーニ賞を受賞。



オリーブの林をぬけて

1994年/イラン/カラー/35mm/103分
撮影:ホセイン・ジャフリアン、ファルハッド・サバ 出演:ホセイン・レザイ、モハマド・アリアケシャヴァーズ、タヘレ・ラダニアン

●「友だちのうちはどこ?」そして人生はつづくに続く「ジグザグ道3部作」の最終章。『そして人生はつづく』で新婚夫婦を演じたホセインとタヘレは、実際は夫婦どころかホセインが地震の前にタヘレに求婚し断られていた。この事実を知ったキアロスタミは現実の二人にカメラを向ける。ジグザグ道を舞台に現実と映画が織り重なった、みずみずしいラブ・ストーリー。



桜桃の味

1997年/イラン/カラー/35mm/98分
撮影:ホムヤン・バイヴァール 出演:ホムヤン・エルシヤティ、アブドルホセイン・バゲリ 配給:トランスフォーマー

●中年の男パディがジグザグ道をレンジローパーで行き来している。彼は自殺を手伝う人物を探していたが、誰もその願いを聞き入れようはしなかった。しかし、いざ目的を果たせそうになった時、パディは思いかげず生と向き合い、人生の意味を知る。深遠なテーマと優しい語り口で、見事97年のカンヌ国際映画祭で最高賞パルム・ドールを受賞した。



風が吹くま

1999年/フランス・イラン/カラー/35mm/118分
撮影:ムハマド・カマリ 出演:ペーザード・ドーラニー 配給:トランスフォーマー

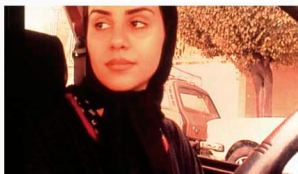
●テヘランから遠く離れたクルド系の村で行われる珍しい葬儀を映像に収めようと、TVディレクターがスタッフとともに村を訪れた。彼らは村で訃報を待つが、目星をつけたおばあさんはなかなか亡くならない…。見知らぬ人の死を安易に待ち望む男が村で過ごす数日を通し、より深い視点で人生を見つめる。99年ヴェネツィア国際映画祭審査員グランプリ受賞作品。



ABCアフリカ

2001年/イラン/カラー/35mm/84分
撮影:セイフォラ・サマディアン

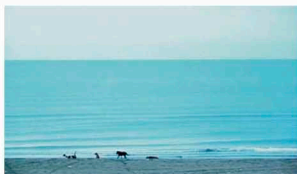
●2000年3月。国連国際農業開発基金の依頼により、ウガンダの160万ものエイズ孤児や内戦で親を失った子供たちの実態をカメラに収めるため、キアロスタミは首都カンパラへ降り立った。キアロスタミが初めてDVカメラを用い、悲劇の中でも力強く生きる子供たちの表情をつぶさに捉える。人間の尊厳を真摯に見つめたドキュメンタリー。



10話

2002年/フランス・イラン/カラー/35mm/94分
撮影:アッバス・キアロスタミ 出演:マニア・アクバリ、アミン・マヘル

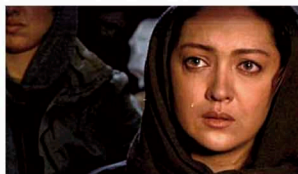
●イランの首都テヘラン。ひとりの女が運転する車に、彼女の息子、妹、友人、見ず知らずの老女、婚婦、結婚寸前の女が次々と乗り込んで降りてゆく。車の中に握え付けられたDVカメラが捕らえる些細な会話から、女性たちのリアルな生き様が浮かび上がる。キアロスタミが初めて女性の視点で世界を見つめた作品。



5 five ~小津安二郎に捧げる~

2003年/イラン、日本/カラー/Blu-ray/74分
提供:NHK

●小津安二郎の生誕100年にあたる2003年に、NHKからの委嘱で制作された小津映画へのオマージュ作品。ロングショット、静かなリズム、自然な人物、固定カメラと小津作品の特徴を意識して演出された、小津に捧げるキアロスタミの抒情詩。



シーリーン

2008年/イラン/カラー/Blu-ray/92分
撮影:ムハマド・カマリ 出演:ニキ・カリミ、ゴルシフ・フアラハニ、ジュリエット・ビノシュ

●12世紀のイランの詩人ニザーミーの情熱的な恋愛物語「シーリーン」原作の映画を、114人の女優たちが鑑賞している。恋愛のヒロインに感情移入し、クライマックスでは大粒の涙をこぼす女優たちの顔だけを次々にとらえ続けた、キアロスタミの実験作。2009年東京国際映画祭出品。日本劇場未公開。



トスカーナの贗作

2010年/フランス・イタリア/カラー/DCP/106分
撮影:ルカ・ピガッツィ 出演:ジュリエット・ビノシュ、ウイラム・シムル 配給:ユロスベース

●母国イランを離れて初めて外国で撮った長編作品。トスカーナを講演で訪れたイギリス人作家が、ギャラリーを経営するフランス人女性と出会う。贗作をめぐる議論を交わしながらトスカーナを巡るうちに、二人はふとしたことから、まるで夫婦のようにふるまうようになる。観客を虚実ないまぜの男女の深淵にひきずりこむラブ・ストーリー。



ライク・サムワン・イン・ラブ

2012年/日本・フランス/カラー/DCP/109分
撮影:柳島克己 出演:奥野匡、高梨臨、加瀬亮 配給:ユロスベース

●元大学教授とデートクラブで働く女子大生、そしてその恋人。三人三様の一方的な愛が一日にも満たない時間の中で絡みあい、彼らのウソとホントをめぐる駆け引きが思いもよらない幕切れに進んでいく。キアロスタミ監督が自身のロマンス・フィルムを主人公に投影した愛をめぐるドラマ。日本で撮影され遺作となった。

キアロスタミに関する | ドキュメンタリー作品



ドキュメント: キアロスタミの世界

1994年/フランス/カラー/35mm/54分
監督:ジャン＝ピエール・リモザン 出演:アッバス・キアロスタミ、ババク・アハマドプール、アハマド・アハマドプール

●ジャン＝ピエール・リモザンがキアロスタミ芸術の本質に迫ったドキュメンタリー。キアロスタミ自身が運転する車で、「友だちのうちはどこ?」のアハマドプール兄弟や「オリーブの林をぬけて」のホセイン、「トラベラー」の少年など、かつての出演者を訪ね歩く。



キアロスタミとの一週間

1999年/日本/90分/デジタルβカム
構成・編集:茂原建二 撮影:三好保彦 配給:スローハンド

●「風が吹くま」の舞台となったイラン西部の村へ日本のスタッフが赴き、初めてキアロスタミの撮影現場をのぞいたドキュメンタリー。撮影助手から主役に抜擢されたペーザードら出演者とキアロスタミとのやりとりや、台本もなくその時のひらめきで進む撮影の様子から、キアロスタミ演出の秘密が見えてくる。



10 on Ten

2004年/フランス/88分/デジタルβカム
監督:アッバス・キアロスタミ

●キアロスタミ自身が「10話」の制作過程をひととき、どのように「10話」を撮影したか、その技術を明らかにしたドキュメンタリー。キアロスタミのアイデアの源泉をのぞくことができる作品。2004年カンヌ国際映画祭ある視点部門出品作品。

※日本語字幕なし。英語吹替版での上映。上映の際に参考資料を配布する予定です。

キアロスタミ | 脚本作品

以下の2作品に『白い風船』を加えた脚本3作品を、“ジグザグ道3部作”にちなんで“子供いじめ3部作”と日本では呼ばれている。



鍵

1987年/カラー/76分
監督:エブラヒム・フルゼシュ 脚本・編集:アッバス・キアロスタミ 出演:マハナズ・アンサリアン、ファテマ・アサール

●赤ん坊の面倒と留守番をいっつけられた4歳のアミール少年。だが台所では料理が焦げ、赤ん坊はお腹をすかせて泣き叫ぶ。近所の人々が助けにくるも、部屋の鍵に少年の手は届かない…。スリルあふれる演出で、観客は手に汗握って応援してしまう。



柳と風

1999年/イラン・日本/カラー/Blu-ray/85分
監督:モハマド・アリタレビ 脚本:アッバス・キアロスタミ 出演:ハディ・アリプール、アミール・ジャンファダ 提供:NHK

●教室の窓を割った少年クーチュキは、窓を直さなければ授業を受けられないこと。お金がない、ガラスのサイズが分からない、と次々に困難にあいながら、やっとガラスを手に入れた少年にたどり着いた少年。だが窓枠は少年の背丈のはるか上にあった…。キアロスタミは本作でも少年を窮地に追いこみ、観客をそのスリルに巻き込んでいく。

キアロスタミ | 短編作品



パンと裏通り

1970年/イラン/モノクロ/35mm/11分
撮影:メヘルタッド・ファヒミ 出演:レザ・ハシェミ、メヘディ・シャハヴァン・フル

●ひとりの少年がパンを抱えてやって来るが、道には恐そうな犬が通せんぼ。はたして少年は家にたどりつけるのか?キアロスタミ映画のエッセンスに溢れた処女短編作品。



24 Frames

2016年/イラン/カラー/DCP/4分30秒

●近年取り組んでいたと言われる4分30秒の短編のうちの本編。プルーゲルやミレーなどの偉大な芸術家たちが現実の一瞬を絵画に切り取ったことにヒントを得て、ある1つのイメージの前後の時間を映像化している。

